

法 学 第 184 号

平成 30 年 5 月 21 日

各 私 立 学 校 長 様
(中・高)

岩手県総務部法務学事課私学・情報公開課長

平成 30 年度産業・情報技術等指導者養成研修の実施について

このことについて、別添のとおり通知がありましたので、受講を希望される場合は、「推薦名簿」(様式 1) に必要事項を記入の上、平成 30 年 6 月 13 日 (水) までに当課宛て提出願います。

なお、期限までに提出がない場合は、希望なしとして取り扱うことを申し添えます。

【担当】私学振興担当 竹内

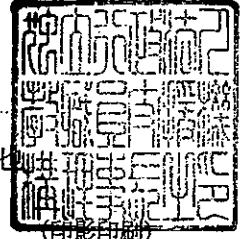
電話 019-629-5041 FAX019-629-5049

メールアドレス: AH0007@pref.iwate.jp

独 教 研 第 3 1 号
平成30年5月14日

各 都 道 府 県 知 事 殿

独立行政法人教職員支援機構
理事長 高岡 信



平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修の実施について（依頼）

平素より、教職員支援機構の研修事業に御協力いただき、誠にありがとうございます。

さて、平成30年度の標記研修につきましては、別添実施要項のとおり実施いたしますので、貴管下の私立学校に御周知いただきますようお願いいたします。

ついては、推薦がある場合は、別添の実施要項中「5受講者（4）推薦手続」のとおり、貴管下の私立学校分を取りまとめの上、様式1「推薦名簿」を平成30年6月20日（水）までに、電子メールにて、つくば中央研修センター研修事業課宛てに御提出ください。実施要項、推薦名簿等は、当機構ホームページ（<http://www.nits.go.jp/training/003/001.html>）からダウンロード可能となっております。

なお、本研修は、各地域において、本研修内容を踏まえた研修の講師等としての活動や、各学校への指導・助言等が受講者により行われることを目的としております。推薦にあたっては、本研修の目的を御理解の上、適切な方を御推薦いただくとともに、受講者の成果活用に御配慮いただきますよう、よろしく申し上げます。



— 問合せ先 —

独立行政法人教職員支援機構
つくば中央研修センター 研修事業課
研修プロデュース室（長谷川）
〒305-0802 茨城県つくば市立原3番地
TEL:029-879-7010 FAX:029-879-6645
E-mail: kk2@ml.nits.go.jp

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修 実施要項

1 目的

本研修は、学校における実習等の授業の質の向上を図るため、急速に発展・進歩する産業技術、情報技術等について、情報化・技術革新その他社会情勢の変化に適切に対応した最新の知識・技術を習得させ、受講者が各地域で行われる研修の講師等や各学校への指導・助言等を行うことを目的としている。

2 主催 独立行政法人教職員支援機構

3 共催 文部科学省、教育関係団体・大学等（[別添2]のとおり）

4 期間、会場、定員、教科、研修内容等 [別添2]のとおり

5 受講者

(1) 受講資格

- ① 各都道府県・指定都市・中核市教育委員会の指導主事及び教育センターの研修担当主事並びにこれに準じる者
- ② 高等学校、中等教育学校又は中学校で産業教育を担当する教諭等

(2) 推薦人数

受講定員は、[別添2]のとおりとする。ただし、定員を超える推薦があった場合でも受講が可能なので、積極的な推薦を行うよう努めること。

(3) 女性の研修参加の促進

指導的地位における女性の割合が高まることが期待されていることから、当機構としては、女性の受講者の一層の増加を目指している。推薦者においては、女性の積極的な推薦について御配慮願いたい。

(4) 推薦手続

推薦期限は、平成30年6月20日（水）とする。

各都道府県・指定都市教育委員会においては推薦者を取りまとめ、「研修情報登録システム」により推薦を行う。

中核市教育委員会においては、[様式1]により都道府県教育委員会に連絡し、都道府県教育委員会が「研修情報登録システム」により推薦を行う。

私立学校においては、都道府県知事部局に連絡し、都道府県知事部局が、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

国公立大学法人については、担当部局が取りまとめの上、教職員支援機構（電子メール「kk2@ml.nits.go.jp」）宛てに、[様式1]により推薦を行う。

(5) 受講者の決定

各都道府県、指定都市教育委員会等からの推薦に基づき、教職員支援機構が決定し通知する。

定員を超過する場合は、受講者数を調整する場合がある。

6 経費

本研修に係る経費については、受講者一人当たり[別添2]に定める「受講費限度額」の範囲内において派遣者が負担するものとする。

「受講費」の支払額及び支払い方法については、受講者の決定通知後(例年、研修実施後、約2～3か月目処)、教職員支援機構より別途通知する。

※詳細は、[様式1]「推薦名簿」の「記入上の注意」(注6)を参照のこと。

7 研修成果の報告

受講者は、研修終了後1か月以内に、研修により得られた成果等に関する報告書([様式2]研修成果報告書)を一部ずつ教育委員会(又は国立大学法人等)及び、教職員支援機構に提出する。

8 その他

- (1) 所定の課程を修了した者には、修了証書を授与する。受講者推薦の際に、必ず受講者の氏名を確認し、正確に記入すること。
- (2) 本研修終了後に受講者アンケート等を行う。

平成30年度 産業・情報技術等指導者養成研修

(別添2)

教科 [研修分野]	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額
農業	A-1	20	8月6日(月) ～10日(金)	アクトシティ浜松 研修交流センター (静岡県浜松市)	次期学習指導要領を念頭にした 地域振興や地域資源の活用に 関する農業教育の講義と実習	地域の振興や資源の活用に関する講義や農業教育における 「主体的・対話的で深い学び」に関する演習及び先進農家での見 学・実習などを通して、地域と連携したプロジェクト学習等の指導 に関する技術の取得を目指した研修。	特定非営利活動法人 しずおかユニバーサル 圏ネットワーク	59,500
工業	B-1	20	8月20日(月) ～24日(金)	金沢工業大学 (石川県野々市市)	教科「工業」における授業改善に 関する講義と演習 ～工業科におけるPBL実践法～	高等学校学習指導要領の教科「工業」の各科目について、生徒 が課題の発見・解決に向けて主体的・協働的に学ぶような授業 の改善にむけて、講義や演習を通して、指導力を高めることを目 指した研修。	学校法人 金沢工業大学	49,700
商業	C-1	40	7月30日(月) ～8月3日(金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	新高等学校学習指導要領を踏ま えた教科「商業」における授業改 善に関する講義と実習	授業改善の実践事例、教科「商業」の指導内容・指導方法及び 商業教育の充実に関するディスカッションなどを通して、指導力 を高めることを目指した研修。	学校法人千葉学園 千葉商科大学	26,100
家庭	E-1	20	8月6日(月) ～9日(木)	8日・9日 全国高等学校長協会 養正館新館 (東京都千代田区) 7日 文化視察学院 (千葉県松戸市) 8日 東京農業大学 専門学校 (東京都世田谷区)	社会の変化に対応した衣食住、 ヒューマンサービス等の生活産 業に関する講義と実習	衣食住、保育などのヒューマンサービスに関する生活産業の最 新情報や消費者教育の推進に向けた講義、実習などを通して、 家庭科の指導力を高めることを目指した研修。	全国高等学校校長協会 家庭部会	29,900
看護	F-1	20	8月21日(火) ～23日(木)	日本福祉大学 東海キャンパス (愛知県東海市)	保健医療福祉の変化に対応した 看護実践力を養成する授業に関 する講義と演習	保健医療福祉の現状及び看護に求められる実践能力を生徒が 主体的・協働的に学ぶ授業の改善に向けて、指導力を高めるこ とを目指した研修。	学校法人 日本福祉大学	38,800
情報	G-1	20	7月30日(月) ～8月3日(金)	千葉商科大学 (千葉県市川市)	次期学習指導要領に対応した教 科「情報」の授業改善に関する講 義と実習	主体的・対話的で深い学びを実現するための授業設計について 講義と演習を通じて学び、自らの授業を改善することができるよ うにする。また、プログラミング、ネットワーク、データサイエンス、 情報デザインとコンテンツ作成など、専門教科及び共通教科で 必要となる学習内容についての最新の知識と指導方法について 演習を通じて学び、自らの授業の質を高めることができるよう にする。	学校法人千葉学園 千葉商科大学	59,000
福祉	H-1	30	8月20日(月) ～22日(水)	神奈川県立津久井 高等学校 (神奈川県相模原 市)	実践的介護の知識及び技能の 向上を図るための講習(教員介 護知識技能講習)	介護の知識及び技術の向上や福祉科目の指導方法、展開方法 の向上を図る。また、介護の分野に留まらず、福祉全体を広く教 授できる養育の向上を目指した研修。 (教員介護知識技能講習の内容を含む。)	全国福祉高等学校長 会	6,000

高等学校

平成30年度 産業・情報技術等指導者養成研修

(別添2)

教科 [研修分野]	講習 番号	定員	実施期間	主な実施場所	研修テーマ	研修内容	実施団体	受講費 限度額
中 学 校	技術 ・ 家庭 (技術)	20	7月23日(月) ～27日(金)	宮城教育大学 (仙台市青葉区)	技術によってよりよい生活や持 続可能な社会を構築する資質・ 能力の育成を旨とした技術分野 の指導	情報、生物育成、エネルギー変換、材料・加工等のテクノロジー について理解させるとともに、これらを用いて社会における問題 を解決できる力を育成するための指導に関する研修。	国立大学法人 宮城教育大学	53,400
	技術 ・ 家庭 (家庭)	20	7月30日(月) ～8月2日(木)	横浜国立大学 (横浜市保土ヶ谷 区)	技術・家庭科における新学習指 導要領に関する講義と実習	食育、幼児・高齢者理解、消費生活における講義、実験・実習な どを通して、調理や幼児・高齢者との関わり方などに関する技能 の習得を旨とした研修。	国立大学法人 横浜国立大学	25,400

研 修 日 程 表

[高 等 学 校]	A	B	C	E	F	G	H	
業 業 業 業 庭 護 報 社	1	1	1	1	1	1	1	1
農 工 商 家 看 情 福	-	-	-	-	-	-	-	-
中 学 校 術 庭	I	J						
技 家	1	1						

※ 更 添 付 したる各場 研修の 研修日程表については、5月14日現在のものであり、今後変

(別紙様式1)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(農業, A-1)

団体名 特定非営利法人 しずおかユニバーサル園芸ネットワーク

日 時	9:00	9:30	10:00	11:00	12:00	12:30	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
2018/8/6 (月)		開講式	【研究協議】 自己紹介・所属校紹介 (久保田・1)	【講義】 目標と課題を明確化する (久保田・1)	【実習】 ユニバーサル農業の実際 (京丸園・1.5)	昼休み	【講義】 新しい農業の可能性 (加藤・2)	【講義】 6次産業化の実際 (伊藤・1.5)	【講義】 生物活用・グリーンライ フの現状と課題 (田畑・2)	【講義】 ビジネスモデル① 杉山 (1.5)	諸連絡
2018/8/7 (火)	【講義】 農業生産法人の可能性 (鈴木・2)	農業生産法人の可能性 (鈴木・2)	【講義】 ビジネスマネジメント をつくる授業 (久保田・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【講義】 ビジネスマネジメント をつくる授業 (久保田・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【講義】 移動・昼休み	【講義】 グリーンツーリズム・観光農園について (豊田由美・2.5)	【講義】 ビジネスモデル② 名倉 (1.5)	【講義】 動物植物のもつ力 (仮題) (大塚・2)	諸連絡
2018/8/8 (水)	【講義】 農産物のブランド化とは (岩崎・2)	農産物のブランド化とは (岩崎・2)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	諸連絡
2018/8/9 (木)	【講義】 園芸の特性と活用 (豊田正・2)	園芸の特性と活用 (豊田正・2)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	【演習】 園芸の特性と活用 (豊田正・1)	諸連絡
2018/8/10 (金)	【講義】 地域資源を活用する (久保田・2)	地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	【演習】 地域資源を活用する (久保田・2)	諸連絡

実施会場： アクトシティ浜松研修交流センター、京丸園、うなぎいもカフェ (静岡県浜松市)

(別紙様式1)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

団体名 金沢工業大学

(工業, B-1)

時 限	1時限 8:40~10:10	休 憩	2時限 10:30~12:00	屋 休 み	3時限 13:00~14:30	休 憩	4時限 14:50~16:20	自主活動時間 16:40~ 18:00
8月20日 (月)	開講式 オリエン テーション 約20分 (講義) 科学技術者倫理	休 憩	(講義) PBL概論 プロジェクトデザイン教育①	屋 休 み	プロジェクト活動I① プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定 (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動I② プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定 (講義・演習)	
8月21日 (火)	プロジェクト活動I③ プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定 (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動I④ プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定 (講義・演習)	屋 休 み	プロジェクト活動I⑤ プロジェクトテーマの決定までの 調査・分析・意思決定 (講義・演習)	休 憩	教科「工業」に関する 文部科学省施策の動向(仮題) 高校におけるPBL実践 (講義)	
8月22日 (水)	プロジェクト活動II① 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動II② 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	屋 休 み	プロジェクト活動II③ 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動II④ 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	
8月23日 (木)	プロジェクト活動II⑤ 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動II⑥ 解決策の仕様設定・立案・試作・ プレゼンテーション (講義・演習)	屋 休 み	プロジェクト活動III① 教育評価法(ルーブリック作成 ワークショップ) (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動III② 教育評価法(ルーブリック作成 ワークショップ) (講義・演習)	
8月24日 (金)	プロジェクト活動III③ 教育評価法(ルーブリック作成 ワークショップ) (講義・演習)	休 憩	プロジェクト活動III④ 教育評価法(ルーブリック作成 ワークショップ) (講義・演習)	屋 休 み	閉講式 受講者と講師陣による 意見交換とまとめ (討議)	閉講式 14:30~ 15:00		

実施会場： 金沢工業大学扇が丘キャンパス (石川県野々市)

新高等学校学習指導要領を踏まえた教科「商業」における授業改善に関する講義と実習

団体名：千葉商科大学

(商業、C-1)

9:00		10:00		11:00		12:00		13:00		14:00		15:00		16:00		17:00		18:00	
1限		2限		3限		4限		5限		6限		7限		8限		9限		10限	
7月30日	9:30受付 10:00開始	開会式	高等学校学習指導要領の改訂と教育課程の編成について(1) 文部科学省初等中等教育局児童生徒課生涯学習課 教科調査官 西村 修一	高等学校学習指導要領の改訂と教育課程の編成について(2) 文部科学省初等中等教育局児童生徒課生涯学習課 教科調査官 西村 修一	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～カリキュラム能力の育成(1)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～カリキュラム能力の育成(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(1)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男	主体的・対話的で深い学びの実現を目指すための授業改善 ～ワークシヨップデザイン(2)～ フリーファシリテーター 後藤 拓也 千葉商科大学特任講師 並木 通男
7月31日																			
8月1日																			
8月2日																			
8月3日																			

(別紙様式1)

平成30年度 産業・情報技術等指導者養成研修日程

(家庭科 E-1)

全国高等学校長協会家庭部会

月日(曜)	午前1(9時30分～11時)		昼休み 12:30	午前2(11時～12時30分)		午後1(13時30分～15時00分)		午後2(午後15時00分～16時30分)		会場 実会場
	9:30	10:00		11:00	12:00	13:30	15:00	16:00		
8月6日 (月)	【開講式】 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【家庭科】における 授業改善の視点 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義】 「学校の特色づくりと家庭科教育」 元校長 森田 晶代	【講義】 「伝統文化と和服」 元文化服装学院 非常勤講師 三浦 篤子	【講義】授業実践事例 SPH専業 「CHANGE SAKURA ～気持ちで羽ばたけ グローバルクリエイター育成プロジェクト～」 岐阜県立大垣桜高等学校 教諭 澤田 尚子	【講義・演習】 「個性を引き出し、思考力、表現力を育てる造形教育」 文化服装学院 生涯学習・通信教育 指導主事 丸山 晴美	【講義・演習】 「住生活とインテリアデザイン」 跡見学園女子大学 マネジメント学部生活環境マネジメント学科 教授 村田 あが	【講義・演習】 「調理実習」 東京栄養食糧専門学校 講師 沢辺 利男 助手 宮城 久美子	【講義・演習】 「調理実習」 東京栄養食糧専門学校 講師 沢辺 利男 助手 宮城 久美子	会議室(千代田区) 全国高等学校長協会
8月7日 (火)	【講義】 「繊維・アパレル業界 の動向とファッション」 文化学園 国際ファッション 産業推進機構 副機構長 山地 保	【講義】 「求人状況と 求める人物像」 文化学園 就職支援室 就職支援二課 課長補佐 池田 衛	【講義・演習】 「おいしさの科学と調理」、 「食文化の指導の工夫」など 東京栄養食糧専門学校 講師 沢辺 利男	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「おいしさの科学と調理」、 「食文化の指導の工夫」など 東京栄養食糧専門学校 講師 沢辺 利男	【講義・演習】 「現代の食生活のトレンドやフードビジネス等」 東京栄養食糧専門学校 講師 伊藤 美穂	【講義・演習】 「現代の子育て支援を担う人材育成を目指して ～保育科の取組～」 埼玉県立鴻巣女子高等学校 教諭 須田 敦子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【開講式】	文化服装学院 (渋谷区)
8月8日 (水)	【講義・演習】授業実践事例 「地域の子育て支援を担う人材育成を目指して ～保育科の取組～」 埼玉県立鴻巣女子高等学校 教諭 須田 敦子	【講義】 「消費者庁作成教材『社会への扉』 を活用した授業実践例」 徳島県教育委員会 学校教育課 指導主事 白濱 真紀子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	会議室(千代田区) 家庭部会事務局 全国高等学校長協会
8月9日 (木)	【講義・演習】授業実践事例 「地域の子育て支援を担う人材育成を目指して ～保育科の取組～」 埼玉県立鴻巣女子高等学校 教諭 須田 敦子	【講義】 「消費者庁作成教材『社会への扉』 を活用した授業実践例」 徳島県教育委員会 学校教育課 指導主事 白濱 真紀子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	【講義・演習】 「まとめ・研究協議」 「研修のまとめ」 文部科学省教科調査官 市毛 祐子	会議室(千代田区) 家庭部会事務局 全国高等学校長協会

(別紙様式1)

平成 30 年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

団体名 日本福祉大学

(看護, F-1)

	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	11:30	12:00	12:30	13:00	13:30	14:00	14:30	15:00	15:30	16:00	16:30	17:00	
21日 (火)	受付	開講式	講義(90) 看護教育の現状と課題	山口	昼食(交流会)	司会 山口	学内 見学	演習(75) (GWと発表) 技術教育が抱える 問題・課題 宮腰・新美・ 山口・渡邊	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法 宮腰	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	演習(75) (GWと発表) 技術教育が抱える 問題・課題 宮腰・新美・ 山口・渡邊	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法	
																		講義(90) 技術教育の考え方と 効果的指導方法
22日 (水)		講義(60) シミュレーション 教育の考え方 新美	演習(75) シミュレーション教育 :訓練用モデルの活 用 新美・渡邊・加藤・ 西土・中村	昼食	演習(75) シミュレーション教育 :模擬対象者(学生 等)の活用 新美・渡邊・加藤・ 西土・中村	演習(75) シミュレーション教育 :模擬対象者(学生 等)の活用 新美・渡邊・加藤・ 西土・中村	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口	講義(90) シミュレーション教育: 病床環境(ベッド)の活用 西原・中村・山口
23日 (木)		演習(90) (GWと発表) 実習教育における 問題・課題 宮腰・新美・ 山口・西土	講義(90) 実習施設で行う 臨地実習教育への 取り組み方 宮腰	昼食	演習(75) (GWと発表) 研修全体の振り返り 宮腰・新美・ 加藤・西原	演習(75) (GWと発表) 研修全体の振り返り 宮腰・新美・ 加藤・西原	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村	講義(60) これからの 看護教育 福村

実施会場：日本福祉大学東海キャンパス (愛知県東海市)

(備考)

1. 演習時に使用しますので、聴診器とナースシューズを持参してください。また、服装は動きやすいものにしてください。
(その場での更衣も可能です。)
2. 臨地実習要項を持参してください。(ご自身が担当している教科のものでかまいません。)
3. 1日目の昼食は主催者が準備します。(交流会の費用として、1000円程度のご負担をお願いします。)
2～3日目の昼食は、ご持参ください。

(別紙様式1)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

団体名 千葉商科大学

(情報, G-1)

日 時	9:00	9:30	10:00	10:30	11:00	12:10	13:10	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
7月30日(月)		受付	開講式 1号館1階 1101教室	講義; 学習指導要領 (文部科学省) 教科調査官 鹿野利素		昼休み		アクティブ・ラーニングの視点に立った 授業改善 事例と講義・実習 (聖心女子大学教授 益川弘如) 2号館1階 214教室				
7月31日(火)			コンテツ分野の実践例と実習 (岐阜県立各務野高校教諭 西田光男) 3号館2階 第9コンピュータ実習室			昼休み		ネットワークの基礎・応用 (秋田県立仁賀保高校教諭 早藤素史) 2号館1階 214教室				
8月1日(水)			Apple 本社訪問・見学 (意見交換・情報収集)			昼休み		Microsoft 訪問・見学 (プログラミング研修)				
8月2日(木)			AIプログラミング (京都市立京都すばる高校教諭 福江努) 3号館2階 第9コンピュータ実習室			昼休み		計測・制御 (埼玉大学教育学部教授 山本利一) 2号館1階 214教室				
8月3日(金)			プログラムによるデータ解析 (千葉県立千葉高校教諭 大橋真也) 3号館2階 第9コンピュータ実習室			昼休み		振り返りと協議 (千葉商科大学教授 永井克昇) 2号館1階 214教室	閉講式 1号館1階 1101教室			

実施会場: 千葉商科大学

(別紙様式1)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(福祉、H-1) 団体名 全国福祉高等学校長会

日時	13:00	14:30	16:30
8月20日 (月)		開講式	講義・演習①・② 生活支援技術(医療的ケア) 感染管理について
8月21日 (火)	9:30	12:30	13:30
	講義・演習③・④ 大学における 福祉教育法	昼休み	講義・演習⑤・⑥ 大学における 生活支援技術教育法
8月22日 (水)	10:00	12:00	13:00
	講義・演習⑦・⑧ 認知症の理解	昼休み	15:00 15:15
		高校福祉教育の現状と 今後の課題について	閉講式

実施会場： 神奈川県立津久井高等学校

(別紙様式1)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

(技術・家庭(技術), I-1) 団体名 国立大学法人 宮城教育大学

日 時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月23日 (月)	受付 9:00-9:50	開講 9:30-9:50	(講義) これから 学習指導 要領の改訂を 踏まえて	昼休み	(講義/実習) 材料と加工の技 術の原理・法の活 用に関する発 想) 1 12:20-13:20	(講義/実習) 材料加工技術の理 解を深める 題材の検討(切削 用具・木材小作 品) 1 13:30-15:30	(講義/実習) 材料加工技術の理 解を深める 題材の検討(切削 用具) 2 15:40-17:40		
7月24日 (火)	(講義/実習) 材料と加工の技 術の原理・法の活 用に関する発想) 2 9:00-10:30	(講義) 生活や社会を支 える情報技術(情 報モラル・サイ ババーセキュリ ティ) 9:00-10:30	(講義/実習) 電気エネルギー のための原理と 活用) 2 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 材料加工技術の理 解を深める 題材の検討(切削 用具・木材小作 品) 3 13:00-15:00	(講義/実習) 生活を支える省エ ネルギー技術 1 15:10-17:10			
7月25日 (水)	(講義) 生物育成分野の 目的・作物栽培 技術の基礎 9:00-10:30	(講義/実習) 情報技術の授 業設計 10:40-12:10	(講義/実習) 作物管理実習を 通じた作物成 長の理解 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 計測・制御のプ ログラミング 13:00-15:00	(講義/実習) 双方向性のある プログラミング 15:10-17:10			
7月26日 (木)	(講義) 生物育成分野の 目的・作物栽培 技術の基礎 9:00-10:30	(講義/実習) 作物管理実習を 通じた作物成 長の理解 10:40-12:10	(講義/実習) 作物管理実習を 通じた作物成 長の理解 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 生活を支える省 エネルギー技 術2 13:00-15:00	(講義/実習) 課題解決型の制 御学習1 15:10-17:10			
7月27日 (金)	(講義/実習) エネルギー変換 における原理・ 法則の理解を深 める題材の検討 (往復スラック 機構) 1 9:00-10:30	(講義/実習) エネルギー変換 における原理・ 法則の理解を深 める題材の検討 (往復スラック 機構) 2 10:40-12:10	(講義/実習) エネルギー変換 における原理・ 法則の理解を深 める題材の検討 (往復スラック 機構) 2 10:40-12:10	昼休み	(講義/実習) 新たな技術の選 択と新しい発想に 基づく改良と応 用(デジタル工 作機械の活用) 13:00-14:30	(講義/実習) 課題解決型の制 御学習2 14:40-15:40	(講義/実習) 閉講式 15:50-16:20		

実施会場：宮城教育大学 (宮城県仙台市)

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修日程

団体名：横浜国立大学

(技術・家庭：J-1)

日時	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
7月30日 (月)		開講式 10:00 開会 10:02 挨拶 10:12 閉会	受付 オリエンテーション 10:15-10:25	(講義)「新学習指導要領における家庭分野の指導」(内容「A 家族・家庭生活」「B 衣食住の生活」) (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育文化ホール 中集会室 10:35-12:00	昼食	(講義)「新学習指導要領における家庭分野の指導」(内容「C 消費生活・環境」) (担当)筒井恭子(文部科学省初等中等教育局教科調査官) 教育文化ホール	休憩十分	(講義・演習)「消費生活・環境」における指導の工夫 (担当)鈴木真由子(大阪教育大学教授) 教育文化ホール 中集会室 14:10-17:10	
7月31日 (火)		教育文化ホール 中集会室 森のルーナ保育園 9:00-12:00	(講義・実習)「幼児理解と幼児との触れ合い活動」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授)	昼食	(演習)「幼児の観察・触れ合い活動のまとめと発表」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育文化ホール 中集会室 13:00-14:50	休憩十分	(講義)「幼児理解につながる触れ合い活動とは」 (担当)園田菜摘(横浜国立大学教授) 教育文化ホール 中集会室 15:00-16:00	休憩十分	(演習)「生活の課題と実践における指導の工夫」 グループ討議 16:10-17:10
8月1日 (水)		(講義・実習)「高齢者の身体の特徴と介護の基礎」 (担当)工藤由貴子(日本女子大学大学院客員教授) 教育文化ホール 中集会室 介護老人福祉施設 スカイ 9:00-12:00	昼食	(講義・演習)「栄養を考えた献立作成の指導」 (担当)三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育学部講義棟7号館210室 13:00-16:00	休憩十分	(講義)「新学習指導要領における栄養・調理の指導の系統性」 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授) 16:10-17:10	休憩十分		
8月2日 (木)		(実習)「調理科学の視点を重視した実習指導」調理実習 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授) 教育学部第1研究棟312室 調理学実験実習室 9:00-12:00	昼食	(講義)「食における食品安全性」 (担当)山本和貴(農業・食品産業技術総合研究機構 食品総合研究所 食品高圧技術ユニット長) 教育文化ホール 中集会室 13:00-14:25	休憩十分	(ディスカッション)「技術・家庭科(家庭分野)における指導の充実」 (担当)杉山久仁子(横浜国立大学教授)、園田菜摘(横浜国立大学教授)、三戸夏子(横浜国立大学准教授) 教育文化ホール 中集会室 14:35-16:00	休憩十分	閉講式 16:10 開会 16:12 挨拶 16:20 修了 証授与 16:30 閉会 アンケート回収 諸連絡	

実施会場：横浜国立大学教育文化ホール、教育学部講義棟他

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修 推薦名簿

(様式1)

	機関等名
	教科名 (注6)

推薦順位	フリガナ		年齢・性別等 (H31.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)		備考
	氏名		年齢	性別	所属名称		経費負担区分		
					〒		請求書送付先〒		
					所在地		請求書送付先住所		
					TEL		請求書送付先所属		
							請求書送付先担当者		
							請求書宛名		
					所属名称		経費負担区分		
					〒		請求書送付先〒		
					所在地		請求書送付先住所		
					TEL		請求書送付先所属		
							請求書送付先担当者		
							請求書宛名		
					所属名称		経費負担区分		
					〒		請求書送付先〒		
					所在地		請求書送付先住所		
					TEL		請求書送付先所属		
							請求書送付先担当者		
							請求書宛名		

記入上の注意

- この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<http://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。
- 各教科ごとに別葉としてください。
- 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2~3ヵ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名	所属郵便番号
フリガナ	所属所在地
所属電話番号	所属名称
所属FAX	e-mailアドレス

平成30年度産業・情報技術等指導者養成研修 推薦名簿

機関等名	〇〇県	教科名 (注5)	A-1
------	-----	-------------	-----

推薦順位	フリガナ 氏名	年齢・性別等 (H31.3.31現在)		受講予定者所属先等		請求書送付先 (注6)			備考
		年齢	性別	所属名称	経費負担区分	請求書送付先	請求書送付先住所	請求書宛名	
1	ケンシュウ タロウ 研修 太郎	30	男	〇〇県立〇〇高等学校	参加者個人	-	-	-	
				〒					
				所在地					
				TEL	12-3456-7890				
2	キョウイン シロウ 教員 次郎	50	男	〇〇市立〇〇中学校	経費負担区分	公費			
				〒			234-5678		
				所在地			〇〇県××市××町××-××		
				TEL	234-5678		〇〇市立〇〇中学校		
3	シドウ ハナコ 指導 花子	25	女	〇〇県××市××町××-××	経費負担区分	公費			
				〒			345-6789		
				所在地			〇〇県△△市△△町△△-△△		
				TEL	09-8765-4321		〇〇県教育委員会〇〇部〇〇課 〇〇グループ		
		年齢	40						
		性別	女						
		職種	指導主事						
		担当教科	国語						
		教職歴	15						

記入上の注意

- この名簿は、教職員支援機構における受講者の決定事務及び名簿作成以外での使用はいたしません。
- この用紙は、各都道府県・指定都市教育委員会からの推薦事務には使用しないでください。
(各都道府県・指定都市教育委員会は研修情報登録システムを使用してください。)
- 中核市教育委員会においては都道府県教育委員会に対する連絡に、私立学校においては都道府県知事部局に対する連絡に、それぞれ使用してください。
- 本様式は、教職員支援機構ホームページ(<http://www.nits.go.jp/training/003/001.html>)よりダウンロードしてください。
- 各教科ごとに別業としてください。
- 「経費負担区分」の欄には、公費、参加者個人またはその他具体的に入力してください。
「請求書送付先」として入力された宛先に、後日(例年研修実施後2~3カ月目処)、教職員支援機構から請求書を送付します。
なお、経費負担区分が「参加者個人」の場合は同左の受講者所属先住所に送付するため、記入不要です。

担当者氏名	担当者 一郎	所属郵便番号	765-4321
フリガナ	タントウシヤ イチロウ	所属所在地	〇〇県〇〇市〇〇町〇〇-〇〇
所属電話番号	00-0000-0000	所属名称	〇〇県教育委員会〇〇部〇〇課
所属FAX	11-1111-1111	e-mailアドレス	xxxxx@xxx.xxx.jp

平成30年度 産業・情報技術等指導者養成研修
研修成果報告書

都道府県・市・国立学校名

所属学校名 職 名	
氏 名	
研修教科及び 研修番号	
受講者番号	
研修期間	平成 年 月 日 ~ 平成 年 月 日
研修内容・成果	※研修参加者が作成した報告書等でも可